



ほほえみ

第297号

令和5.7.1発行

7月のテーマは「認知症ケア」です。

認知症ケアの基本は「尊厳の保持」です。
認知症の人をそれぞれに「個性・可能性・希望」があり、その人らしい生活を全うできるよう支えることがケアの本質に
掲げています。

(厚生労働省より)



ケアの基本

1. ゆつとニツと楽しく
2. 自由にありのままに
3. 「こたげてるケア」から「一緒にすすむケア」へ
4. 残った「力」を暮らしに喜ぶ
5. 「こたげ」環境と大切に
6. 地域や自然と触れ合う

認知症の人への接し方

1. 放っておくのではなく見守る

→危なくないか常に観察する

2. 分かる言葉で簡潔に話す

→理解しやすい言葉で1つ1つ話す

3. プライドを傷つけない

→まらから「言葉と口」を無理に訂正しない

4. スキンシップを頻繁に

→残っている感情面に積極的に働きかける(手を握る、温かいまぶし)

5. 相手のペースを守る

→息がせると興奮しやすくなるのでゆっくり待つ

6. 孤独にさせない

→できる「こたげ」声をかけ、行動を共にする

7. 急な環境の変化を避ける

→どうしても変える時に少しずつ慣らす

8. 身体リズムを整える

→症状が進むと無気力や無関心になり、症状の悪化につながります。
身体リズムは毎日整え、時にこたげをすることも効果的です。

今、ケアをしている方へ

介護保険などのサービスを活用し、おから支える人も自分の時間を持ちましょう。
幸ワリニ、職員一同認知症の人や支える人に寄り添っていきます。